



2016年(平成28年) 3月13日発行

主な内容

- 2……狂犬病予防注射日程表、いきいき教室参加者募集
- 3～6……ごみ収集日程表、ごみの分け方・出し方
- 7……施設ガイド 8……4月の相談日程

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

◆「ごみ収集日程表」と「ごみの分け方・出し方」を3～6ページに掲載しています。抜き取ってご使用ください。



昨年6月30日、伊賀南部クリーンセンターで不燃・粗大ごみ処理ラインで火災が発生しました。また、1月15日には、プラスチック製容器包装受入コンベアから出火しました。いずれも直ちに消火活動を行い、大きな事故にはなりませんでしたが、原因の特定はできませんが、収集した「ごみ」により、これまでも事故が発生しています。

☎ 伊賀南部クリーンセンター ☎ 53-1120

火災発生の原因となる危険ごみ

クリーンセンターで発生した火災の原因として考えられるのは、スプレー缶やカセットボンベ、そして塗料缶などです。機械につぶされた缶の中のガスが火花と接触、発火したと考えられます。

不燃ごみは、ごみ収集車から直接、処理ラインの機械に投入されます。よって、その中に発火性のごみや危険物が混ざっていても取り出すことができません。必ず、燃料容器やスプレー缶などは使い切り、穴を開けてそれぞれ正しい出し方で処分するようお願いいたします。粗大ごみとして出されるストープ類も灯油などが残っていると危険ですので必ず使い切ってください。使い捨てライターは月に1度、資源ステーションに回収箱を設置していただきます。




ごみ処理を安全にできるような皆さんのご協力をお願いします。



そのゴミのまま出したら危険

正しい分別でクリーンセンターでの事故を防ぐ

出し方によって危険なごみになります！






<p>ポリタンク・塗料缶</p> <p>中身を空にして指定ごみ袋に入れ「燃やさないごみ」として出してください。</p>	 <p>穴をあける</p>	<p>ストーブ・ヒーター</p> <p>中に入っている灯油を完全に使い切ってから、「粗大ごみ」として出してください。</p>	
<p>スプレー缶・カセットボンベ</p> <p>使い切った後、穴を開けてガスを完全に抜いて資源ステーションの「スプレー缶」のかごに出してください。</p> <p>※ガスを抜くのは安全のため風通しの良い屋外で</p>	 <p>ライター専用回収箱</p>	<p>使い捨てライター</p> <p>使い切った後、月に1回資源ステーションの「ライター専用回収箱」に出してください。ガスが残って取り出せない場合は、伊賀南部クリーンセンターか市役所へ持ち込んでください。</p>	

正しい分別をしないと資源化できません

容器包装プラスチックは、リサイクルするため、人の手で異物を取り除いています。容器包装プラスチックに食品などが付着していると、選別作業中に飛び散り、他のものまで資源として使えなくなりますので、正しく分別してください。



資源ごみ (容器包装プラスチック) に混入! 間違いの多い出し方

<p>食品が入ったまま汚れたままの容器包装プラスチック</p>  <p>燃やすごみ</p>	<p>在宅医療で使用した注射器やチューブ類</p> <p>※針は医療機関などで引き取ってもらってください。</p>  <p>燃やすごみ</p>	<p>プラスチック製の洗面器・おもちゃ・ハンガー・食器など</p>  <p>燃やさないごみ</p>	<p>ペットボトルはキャップやラベルを外して</p>  <p>ペットボトル</p> <p>キャップやラベル</p>  <p>容器包装プラ</p>
--	---	--	--

※市ホームページに、「ごみの分け方・出し方ガイドブック」や「50音順ごみの分け方・出し方」を掲載